

議会基本条例・議員政治倫理条例の制定を目指して



◆公民館で出張夜間委員会
平成21年4月、議会基本条例と議員政治倫理条例の制定を目的として議会改革

◆たたき台作成と意見交換会
7月には、既に議会基本条例を制定している所沢市議会の調査を行い、それを参考にして議会基本条例4人と議員政治倫理条例3人の作業部会を設け、これまで議会基本条例5回の作業部会が開かれ、条例のたたき台である原案作成が行われました。



◆今後の展開
条例制定に至るまでには、条文の法的チェック、町執行者側との調整、パブリックコメントの実施など行わなければならないことはいくつもあり、まだまだ息が抜けません。住民の皆さまの引き続きご指導、ご鞭撻をお願いいたします。



平成21年11月4日～5日

〈埼玉県北本市〉

調査の目的

「地域公共交通連携計画」とデマンドバス

国土交通省の「地域公共交通活性化・再生総合事業」を採用し、今年10月1日よりデマンドバスのテスト運行を開始しているため、国庫補助を受けての事業展開について調査する。

町としてどのように活かすのか

三芳町では、高齢化により、バス路線充実の要望がある。交通空白地の問題が課題となっている。北本市の国土交通省補助事業の採用では、調査から導入に約5年かかっている。平成20年度に関係機関をメンバーとした「地域公共交通会議」を設置し、国庫補助事業の法定協議会に移行した。本町において国庫補助事業の採用に当たっては、メリット・デメリットについて十分に検討しなければならない。町民へのアンケート調査と関係機関による（仮称）三芳町公共交通会議の設置はできるだけ早くに実施すべきと考える。

〈茨城県神栖市〉

調査の目的

デマンドタクシー

平成20年のコミュニティバス廃止に伴い、移動手段を持たない市民の交通として、市内全域を対象とする「神栖市デマンドタクシー」を平成19年10月より導入している。補助金を前提としていないので調査から導入まで2年弱で済んでいる。

町としてどのように活かすのか

国庫補助を利用せず自主財源で導入したことにより、計画から実施まで短い期間で導入できた。本町での導入にあたり制度設計をコンサルタントに依頼するならば、コストをいかに抑えるか検討が必要である。また、神栖市の配車システムは安価なもので初期費用及びランニングコストが抑えられているが、それについても本町では研究課題となる。



平成21年10月21日～22日

〈群馬県高崎市〉

学校給食センター

調査の目的

学校給食自校式

老朽化が進む学校給食センターの建て替えにあたり、教育的効果の高い自校式を採用している先進地を調査する。

町としてどのように活かすのか

自校式給食は子どもたちの健全な心身の育成等多くの教育上の効果があり、委員会では、給食センターの建て替えにあたっては、センター方式も含め自校式についても検討すべきであるとの結論に至った。各学校で敷地を確保することが可能か、また、自校式とセンター方式の財政面での比較調査等を早急に進めていく。

〈栃木県茂木町〉

リサイクルセンター「美土里館」

調査の目的

ごみの堆肥化

循環型社会を目指し、さらなるCO₂削減のために、生ごみや落ち葉等の堆肥化をしている先進地を調査する。

町としてどのように活かすのか

三芳は農業が盛んであり「落ち葉堆肥」等で豊かな農地としてきた歴史もある。生ごみ・落ち葉等の未利用資源のリサイクルを進めていく上で、「美土里館」の取り組みは参考になる点が多い。今後、循環型社会を目指し、CO₂削減を考えた新たな施策について調査研究をしていくことが求められる。

平成21年11月11日

〈埼玉県川越市及び町内〉

福祉喫茶「ちゃちゃこ」他

調査の目的

障害福祉・高齢福祉施設

障がい者の就労支援・自立支援と福祉喫茶の運営並びに経営について障害福祉施設の状況を調査する。

町としてどのように活かすのか

福祉喫茶「ちゃちゃこ」は人が多く訪れる川越市の複合施設「図書館・公民館・小学校」の1階という立地条件に恵まれ、社会福祉法人が運営している。障がい者一人ひとりが誇りを持って働けるような就労支援を最大の目的とし、本体施設を拠点に地域へサテライト的に事業所を配置し利用者へ社会参加の場を提供している。当町の「ハーモニー」の今後の運営にあたり、障がい者の就労支援のためには、福祉支援員等の有資格者を設置することが参考になる。他に町内「かしの木ケアセンター」と「みずほ苑」を訪問。

議会活動日誌

11月

- 4日～5日 総務建設常任委員会所管事務調査
- 6日 議会改革特別委員会（公開会議）
- 10日 入間郡町村議会議長会役員会
- 11日 厚生文教常任委員会所管事務調査
- 12日 議会基本条例作業部会
議会改革特別委員会（公開会議）
- 13日 滋賀県蒲生郡町村議会議長会来庁
- 16日 議会改革特別委員会（公開会議）
- 25日 議会運営委員会
- 30日～12月9日 第6回三芳町議会定例会

12月

- 4日 厚生文教常任委員会
- 7日 総務建設常任委員会（請願審査）
- 8日 全員協議会
- 11日 議会改革特別委員会
- 15日 議員政治倫理条例作業部会
- 16日 入間東部地区衛生組合議会議会運営委員会

- 18日 第7回三芳町議会臨時会
議会だより編集委員会
- 19日 議会改革特別委員会第1回意見交換会
- 22日 入間東部地区衛生組合議会第3回定例会
- 24日 議会改革特別委員会
- 25日 厚生文教常任委員会所管事務調査

1月

- 7日 議会だより編集委員会
- 10日 平成22年消防出初め式
- 13日 入間東部地区消防組合議会
消防本部庁舎等建設審議会
- 14日 議会改革特別委員会
- 16日 議会改革特別委員会第2回意見交換会
- 19日 議会改革特別委員会
- 21日 議会運営委員会
- 23日 議会改革特別委員会第3回意見交換会
- 26日 議会改革特別委員会
全員協議会

次の議会定例会は
3月2日（火）
開会の予定です。

皆様の傍聴を
お待ちしております。

休日議会及び議会報告会を開催します

◆休日議会

- 日時 3月14日（日）10:00～
- 場所 役場7階議場
- 内容 平成22年度一般会計予算審議

◆議会報告会

- 日時 4月25日（日）13:30～
- 場所 中央・藤久保・竹間沢公民館同時開催
- 内容 3月定例会の議会報告

編集後記

1960年、第35代合衆国大統領になったJ・F・ケネディは就任演説の中に於いて、米国民に自己利益を越えて自分の国のために働くよう促し「あなたの国があなたのために何ができるのかを問うのではなく、あなたがあなたの国のために何ができるのかを問うてほしい」と述べた有名な演説であります。

今、当町に於いて住民と行政の協働体制の確立をより推進するために「協働のまちづくりネットワーク」が立ち上がりました。運営委員会に多くの町民の方が参加され、多くの議論がなされ、協働の事業が実施されようとしています。J・F・ケネディの言葉を噛み締めつつ、一人ひとりの生活・社会環境は違えど、一人でも多くの方が、能動的に協働のまちづくりに様々なポジションから参加されることを期待します。

議会だより編集委員会

編集委員 高橋

- 委員長 菊地 浩二
- 副委員長 岩城 桂子
- 委員 神田 順子
- 委員 高橋 忠一
- 委員 光下 重之
- 委員 秋坂 豊